

No. 168

平成28年4月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

☎(0241)23-3263 〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151
HPアドレス <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行/北塩原村議会 編集/議会広報調査特別委員会(TEL 0241-23-3263)

目次

平成28年度当初予算	2~3
3月定例会報告	4~7
一般質問	8~13
お知らせ	14

議会だより

3月議会



【写真】裏磐梯幼稚園

たくさんの楽しいを
みんなでつくる
笑顔あふれる入園式



【写真】さくら幼稚園

村の予算はどんなことに使われるの？

～平成28年度当初予算編成～

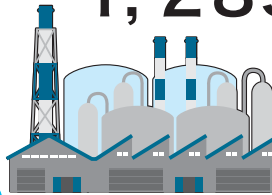
第五次総合振興計画策定事業経費

1,270万円



工場等立地促進事業に伴う経費

1,289万円



基本方針

- 観光・商工業の発展のためのプロジェクト
- スポーツと芸術・文化の振興を図るためのプロジェクト
- 特色ある農林漁業を展開するためのプロジェクト
- 安全・安心な暮らしを守るためのプロジェクト
- 健康と福祉の充実を図るためのプロジェクト
- 企業誘致（起業促進）と雇用を確保するためのプロジェクト
- 教育の充実と子育て支援のためのプロジェクト
- 若者が住みたくなくなる環境を整備するためのプロジェクト



総務費 5億9,026万円(3,427万円増)

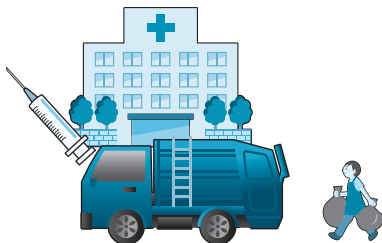
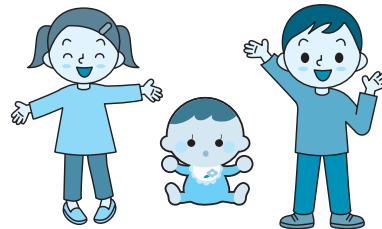
《地域活性化のために》

○社会保障税番号制度対応事業	393万円
○住宅用地整備事業	658万円
○空き家対策事業	315万円
○地域おこし協力隊設置事業	718万円

民生費 4億2,761万円(3,105万円増)

《社会福祉向上のために》

○デイサービスセンター運営事業	894万円
○社会福祉協議会運営事業	2,579万円
○乳児及び児童医療費助成事業	1,118万円
○誕生・子育て支援事業	320万円



衛生費 3億7,491万円(7,395万円増)

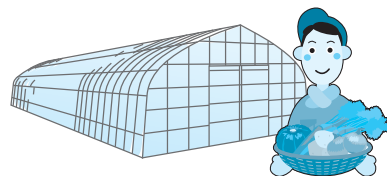
《疾病予防、環境美化のために》

○地域環境美化事業交付金	120万円
○裏磐梯診療所設備購入経費	707万円
○ごみ処理経費	4,753万円

農林水産業費 2億1,236万円(2,066万円減)

《農林漁業の振興のために》

○東京農業大学連携風評被害対策事業	683万円
○園芸施設リース事業	1,400万円
○有害鳥獣対策事業	556万円
○地籍調査事業	1,258万円



一般会計予算可決

35億3,670万3千円

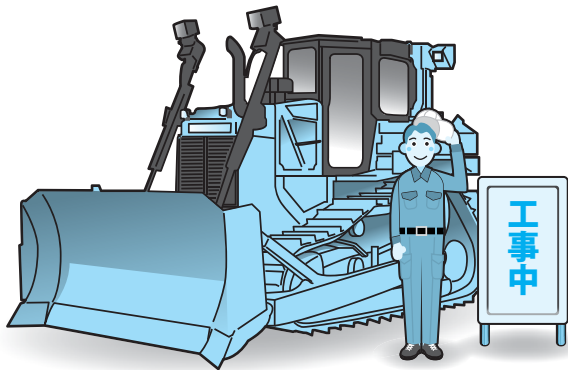
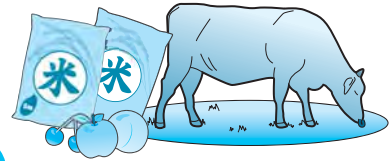
一般会計及び各特別会計一覧

(千円)

会計名	平成28年度 当初予算額	平成27年度 当初予算額	差引増減
一般会計	3,536,703	3,336,177	200,526
国民健康保険事業費特別会計	452,983	459,418	▲ 6,435
簡易水道事業費特別会計	168,397	122,980	45,417
特定環境保全下水道事業特別会計	401,274	444,747	▲ 43,473
簡易排水施設事業特別会計	3,589	3,484	105
農業集落排水事業特別会計	143,168	81,590	61,578
介護保険事業特別会計			
保険事業勘定	341,514	327,042	14,472
介護サービス事業勘定	129	1,416	▲ 1,287
後期高齢者医療特別会計	25,814	26,516	▲ 702
計	5,073,571	4,803,370	270,201

風評被害対策事業に伴う経費

5,375 万円



商工費 4 億 7,228 万円 (9,602 万円増)

《商工業の振興のため、観光 PR のために》

○商工会補助金	1,450 万円
○裏磐梯観光協会補助金	2,405 万円
○観光防災 Wi-Fi ステーション整備事業	1,930 万円
○ふくしまヘルスツーリズム実証モデル事業	300 万円

土木費 4 億 1,038 万円 (7,952 万円増)

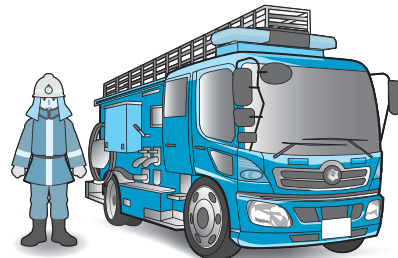
《安全・安心な生活交通網の確保・整備のために》

○美しい村を目指す道路整備事業	234 万円
○除雪対策費	7,290 万円
○道路新設改良事業	2 億 3221 万円

消防費 2 億 8,774 万円 (9,703 万円減)

《消防及び防災体制強化のために》

○地域防災関連計画策定事業	546 万円
○防災行政無線デジタル化事業	1 億 5,893 万円
○消防施設整備事業	2,004 万円



教育費 2 億 5,242 万円 (1,888 万円減)

《学校教育・生涯学習の充実のために》

○特別支援児支援体制整備事業	685 万円
○教育環境整備事業	1,066 万円
○文化財調査事業	503 万円
○きたしおばら交流フェスタ事業	120 万円

3月定例会・臨時会 あらまし

3月定例会は3月8日から14日までの7日間の会期で開催されました。

第1日目に、村長招集あいさつ並びに提案理由の説明を行い、その後、一般質問を行い、5名の議員が村政をたてました。

第2日目は、条例案件、一般会計及び特別会計の補正予算案29件、平成28年度各会計予算案8件についての説明を受けました。

第3日目には常任委員会を開催し、付託された案件、議案等の審議を行いました。

第4日目から第6日目まで、休会をし、最終日に各議案についての質疑、討論、採決を行い、37議案について原案のとおり可決しました。

また、3月29日に臨時会が開催され一般会計補正予算案2件を原案のとおり可決しました。



【提出議案の概要】

【議案第1号】

専決処分承認を求めることについて（北塩原村税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例）

村民税と特別土地保有税の減免申請書に個人番号の記載を要しないこととするもの。

【議案第2号】

北塩原村温泉健康増進施設指定管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの。

《指定管理者》

・株式会社ラビスパ

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第3号】

いこいの森グリーンフィールド指定管理者の指定について
指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの。

《指定管理者》

・株式会社ラビスパ

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第4号】

北塩原村ふれあい広場指定管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの

《指定管理者》

・株式会社ラビスパ

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第5号】

北塩原村デイサービスセンター指定管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの。

《指定管理者》

・社会福祉法人北塩原村社会福祉協議会

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第6号】

スポーツパーク松原湖指定管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの

《指定管理者》

・スポーツパーク松原湖管理組合

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第7号】

松原歴史館指定管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの

《指定管理者》

・松原歴史館運営協議会

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第8号】

裏磐梯物産館指定管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの

《指定管理者》

・株式会社ラビスパ

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第9号】

北塩原村林産物展示販売施設指定管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管理者を指定するもの

《指定管理者》

・株式会社ラビスパ

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第10号】

北塩原村農産物直売施設指定
管理者の指定について

指定期間満了に伴い指定管
理者を指定するもの

《指定管理者》

・株式会社ラビスパ

《指定期間》

・平成28年4月1日～

平成33年3月31日まで

【議案第11号】

北塩原村過疎地域自立促進計
画の変更について

現在の北塩原村過疎地域自
立促進計画の終期が平成27年
度までとなっているため、平
成28年度から平成32年度の計
画に変更するもの。

【議案第12号】

北塩原村道路線の変更につい
て

村道北山・下吉線の改良工
事に伴い、起点の位置を変更
するもの。

【議案第13号】

行政不服審査法の施行に伴う
関係条例の整備に関する条例
行政不服審査法の施行に伴
う関係条例の所要の改正をす
るもの。

【議案第14号】

行政不服審査法関係手数料条
例

行政不服審査法の規定によ
る提出書類等・提出資料の写
しの交付手数料の納付及び減
免について規定するもの。

【議案第15号】

北塩原村空き家等の適正管
理及び活用促進に関する条例

空き家等の適正な管理及び
活用促進を図るため、行政及
び所有者等の責務を明らかに
するとともに必要な事項を定
めることにより、防災、防犯、
衛生、景観等の村民の生活環
境を保全し、魅力あるまちづ
くりの推進を図るためのも
の。

【議案第16号】

北塩原村子育て祝金条例

子育て家庭の支援を充実す
させるため、幼稚園入園時、
小学校入学時、中学校入学時
に支援金を支給するもの。

【議案第17号】

北塩原村人事行政の運営等の
状況の公表に関する条例の一
部を改正する条例

行政不服審査法の改正に伴
う文言の改正、公表事項に人
事評価及び退職管理を追加す
るもの。

【議案第18号】

職員の勤務時間、休暇等に関
する条例の一部を改正する条
例

学校教育法の一部改正、地
方公務員法の一部改正に伴い
所要の改正を行うもの。

【議案第19号】

議会議員の議員報酬、期末手
当及び費用弁償に関する条例
の一部を改正する条例

福島県人事委員会勧告内容
を実施するための改正を行う
もの。

【議案第20号】

村長等の給与及び旅費に関す
る条例

福島県人事委員会勧告内容
を実施するための改正を行う
もの。

【議案第21号】

職員の給与に関する条例の一
部を改正する状態里

福島県人事委員会勧告内容
を実施するための改正を行う
もの。

【議案第22号】

北塩原村放課後児童健全育成
事業の設備及び運営に関する
基準を定める条例の一部を改
正する条例

学校教育法の一部改正によ
り、放課後児童健全育成事業
の設備及び運営に関する基準
が改正されたことに伴う所要
の改正を行うもの。

【議案第23号】

北塩原村指定地域密着型サー
ビスの事業の人員、設備及び
運営に係る基準等に関する条
例の一部を改正する条例

介護保険法の一部改正に伴
い、条項を整理するもの。

【議案第24号】

北塩原村指定地域密着型介護
予防サービスの事業の人員、
設備及び運営並びに指定地域
介護予防サービスに係る介護
予防のための効果的な支援の
方法に係る基準等に関する条
例の一部を改正する条例

指定地域密着型介護予防
サービスの事業の人員、設備
及び運営並びに指定地域密着
型介護予防サービスに係る介
護予防のための効果的な支援
の方法に関する基準の一部改
正に伴う所要の改正を行うも
の。
(指定介護予防認知症対応型
通所介護事業者)に運営推進会
議の設置を義務付けする内
容)

【議案第25号】

平成27年度北塩原村一般会計
補正予算(第5号)

○3月補正額

45,037千円

・職員人件費

3,515千円

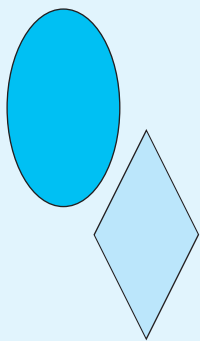
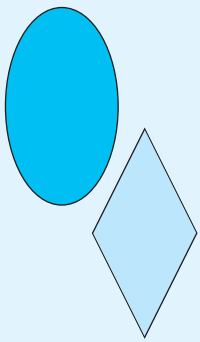
・公共施設等維持補修基金積
立金

150,000千円

・中間サービスプラット

フォーム負担金

3,775千円



・個人番号カード交付事業委託
519千円

・認可保育所運営負担金
1,042千円

・年金生活者等支援臨時交付金
14,876千円

【議案第26号】

平成27年度北塩原村国民健康
保険事業費特別会計補正予算
(第2号)

○3月補正額

7,896千円

・保険給付費

3,668千円

【議案第27号】

平成27年度北塩原村簡易水道
事業費特別会計補正予算(第
2号)

○3月補正額

91千円

・職員給与費等繰入金

91千円

【議案第28号】

平成27年度北塩原村特定環境
保全下水道事業特別会計補正
予算(第2号)

○3月補正額

90千円

・職員給与費等繰入金

90千円

【議案第29号】

平成27年度北塩原村介護保険
事業特別会計補正予算(第2
号)

○3月補正額

142千円

・職員給与費等繰入金

127千円

【議案第30号】

平成28年度北塩原村一般会計
予算

【議案第31号】

平成28年度北塩原村国民健康
保険事業費特別会計予算

【議案第32号】

平成28年度北塩原村簡易水道
事業費特別会計予算

【議案第33号】

平成28年度北塩原村特定環境
保全下水道事業特別会計予算

【議案第34号】

平成28年度北塩原村簡易排水
施設事業特別会計予算

【議案第35号】

平成28年度北塩原村農業集落
排水事業特別会計予算

【議案第36号】

平成28年度北塩原村介護保険
事業特別会計予算

【議案第37号】

平成28年度北塩原村後期高齢
者医療特別会計予算

※議案第30号から議案第37号
までの各会計の平成28年度当
初予算については、2ページ、
3ページを参照ください。

【報告第1号】

第23期株式会社ラビスパ事業
報告及び決算書について

地方自治法第243条の3
第2項の規定により、村が出
資する株式会社ラビスパの経
営状況を報告するもの。

《審議結果の状況》

【議案第2号】

北塩原村温泉健康増進施設指
定管理者の指定について討論
されました

○内容

指定期間満了に伴い指定管理
者を指定するもの。

《指定管理者》

・株式会社ラビスパ

《指定期間》

・平成28年4月1日～
平成33年3月31日まで

3月臨時会 提出議案の概要

【議案第38号】

平成27年度北塩原村一般会計
補正予算(第6号)

○3月補正額

13,340千円

・会津デジタルDMO推進協
議会負担金

13,340千円

【議案第39号】

平成28年度北塩原村一般会計
補正予算(第1号)

○3月補正額

690千円

・子育て祝金

690千円

用語解説

デジタルDMO

デジタルDMOとは、外国人観光客向けに会津地方を
PRするためのウェブサイト

賛成討論



小椋 眞議員

議案第2号については、全
員協議会の場合でも既に協議さ
れていた内容であり、指定管
理料の増額の件についても昨
年度より協議されていた。

この指定管理の相手先は、地
域振興や地域住民の交流とし
ても貢献していると思うため、この
議案については賛成するもの。

反対討論



小椋 元議員

議案第2号について、指
定管理料が昨年度より、
400万円も多く計上されて
いる。
予算の審議もされず、かつ
指定管理先の状況もよく分析
されていないため、この議案
については反対とするもの。

平成28年第1回北塩原村議会定例会

議案番号	遠藤 和夫	若林 幸子	五十嵐 善清	五十嵐 正典	遠藤 祐一	五十嵐 力雄	小椋 元	小椋 眞	蟹巻 尚武	大竹 良幸	議決結果 (賛成：反対)
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第2号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決（8：1）
議案第3号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決（8：1）
議案第4号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決（8：1）
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第8号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決（8：1）
議案第9号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決（8：1）
議案第10号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決（8：1）
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）

平成28年第2回北塩原村議会臨時会

議案番号	遠藤 和夫	若林 幸子	五十嵐 善清	五十嵐 正典	遠藤 祐一	五十嵐 力雄	小椋 元	小椋 眞	蟹巻 尚武	大竹 良幸	議決結果 (賛成：反対)
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）

3月定例会議案結果一覧

※一覧表では、賛成の場合○を、反対の場合は×と記載されています。
なお、議長は採決には加わりません。
※各議案の概要については、4ページから6ページを参照



- 1 小椋 元 議員 9
○健康増進施設「ラビスパ裏磐梯」について
○遊歩道の管理について
- 2 遠藤 祐一 議員 10
○磐梯山砂防計画策定に伴う当村のハザードマップ更新について
○村長の任期満了に伴い今後の政治姿勢について
- 3 遠藤 和夫 議員 11
○冬期間の高齢者の健康増進対策及び北山地区体育施設の再整備・拡充について
- 4 若林 幸子 議員 12
○村の特産品について
○「子供議会」について
○地域おこし協力隊について
- 5 五十嵐力雄 議員 13
○北塩村村まち・ひと・しごと創生について
○人材育成について

ズバリ!!

村政を質す

5人の議員が一般質問

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることをいいます。

小 椋 元



問 健康増進施設ラビスパ裏磐梯の施設について、ここ何年かの経営状況はどうなっているのか。

答（総務企画課長）
ラビスパ裏磐梯の平成26年度の指定管理委託の実績によると、収入額が1億644万7千円、支出金額は1億1,775万円です。入館者は、平成26年4月から平成27年3月31日まで、5万2,740人でした。

問 健康増進施設「ラビスパ裏磐梯」について
～現状について追及～

（１）経営状況を伺う。
（２）入込状況を伺う。

答（総務企画課長）

ラビスパ裏磐梯の指定管理者に基づく実績報告書になりますが、ここ3年間遡って報告すると、平成24年度は収入が9,130万2千円、支出が1億1,956万円。
平成25年度は収入が8,555万2千円、支出が1億2,556万4千円。
平成26年度は、先ほど説明した通りです。
また、入館者においては、平成24年度が6万358人、平成25年度が4万9,619人、26年度は5万2,740人となっています。

問

ラビスパ裏磐梯の、ここ3年間の経営状況は、支出額が多く赤字のように思えるが、村はどう考えているのか。

答（総務企画課長）

同施設は、村民の健康づくり・健康増進を目的に設置され、さらには、同施設の職員、半数以上が村民の方となっています。
施設の収支状況については、これらの要件も総合的に判断する必要があると思っています。



▲【写真】ラビスパ裏磐梯外観

遊歩道の管理について

～村の方針を問う～

問 今後の整備計画について伺う。

答（商工観光課長）

村の探勝路は19コース、総延長約80キロとなっています。利用者に安全で快適な施設であるよう点検、維持管理を行うことを基本とし、新たなコースの整備については、現在のところ考えていません。

問

19コースの遊歩道のうち、夏に使用できないコースはどのくらいあるか。

答（商工観光課長）

吾妻川の探勝路の1ヶ所、通行止めの看板を設置した経緯があります。
探勝路の維持管理、点検については、多いところでは月3回から4回、少なくとも月1回以上は点検しています。



▲【写真】吾妻川探勝路

遠藤 祐一



磐梯山砂防計画策定に伴う当村のハザードマップ更新について

〓村の対策を確認〓

問

- (1) 作成予定について伺う。
- (2) 平成25年度発行された防災マップとの関連性をどの様に考えているのか。
- (3) 当村は観光客も当然、対象となるためその事を認知してもらった取り組みも重要不可欠と思うがいかがか。

答 (住民課長)

当村のハザードマップ更新について、磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画が平成28

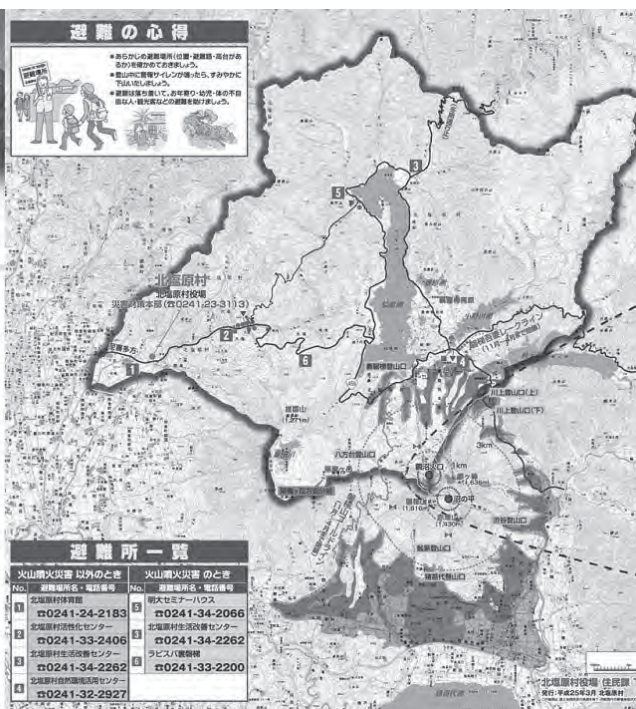
年2月に大筋の案がまとまり、細かい修正を経て、今年度中に作成される見込みとなりました。

計画が作成されたあと、現在の磐梯山火山ハザードマップを、県や関係市町村と共同で改定する予定です。

また、観光各地などへの周知の取り組みでは、登山客については、猪苗代町、磐梯町

と共同で、火山対策警報装置、サイレンを設置しており、危険を周知する体制となっております。

一般の観光客の方々へは、各宿泊施設などへハザードマップを配布し、啓発に努めていきます。村のホームページや防災行政無線、携帯電話のエリアメールなどを利用し、情報を発信していきます。



▲【写真】平成25年3月発行 北塩原村防災マップ

問

当村は、村民だけでなく観光客もあり、その人数は春夏秋冬を通して異なる。こうしたシーズンごとに、対応の仕方も変える必要がある。

最悪の場合は、コンクリートで作ったシェルターも必要になってくる。

また、何日間かの食糧の備蓄も必要になる。当村では、そういった準備や体制の整備をどのように考えているのか。

答 (住民課長)

平成13年以降、磐梯山の火山性地震が一気に増加し、その後、猪苗代町、磐梯町と一緒に、磐梯山火山防災連絡会を立ち上げ、毎年、3町村の首長による電話会議、県も加わった防災訓練なども実施しています。

そして、3町村以外でも県や喜多方市、会津若松市、湯川村、その他、気象台や大学等といった機関とも意見を聞きながら対策を進めたいと思います。

火山防災に限らず、マスクや毛布といった備蓄品や食糧品の準備は進めています。

シェルターにおいては、当村だけで準備するのは困難なため、関係機関との調整を進めています。

用語解説

ハザードマップ

ハザードマップとは、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で避難場所や経路といった、防災関連施設等の位置を地図上で示したものを言います。当村では、平成25年3月に北塩原村防災マップが作られています。

村長の任期満了に伴い今後の政治姿勢について

問

〓小椋村政について問う〓
9月任期満了に伴い再出馬の決意について伺う。

答 (村長)

今後も誠心誠意、残された任期中、全精力を傾けて、多くの先輩方、先人たちが築きあげた歴史、文化と伝統のある村づくりに邁進していききたいと思います。

3期目の村政運営については、今までのご支援をいただいた方々、さらに、後援会の方々の意見やご教示を聞きながら、時期をみて判断していきたいと思っています。

冬期間の高齢者の健康増進対策及び北山地区体育施設の再整備・拡充について

問

行政の施策を質す

冬期間における高齢者の健康増進及び維持を目的とした村の施策は何か。また、冬期間の運動不足解消や健康維持対策として、既存体育施設の無料開放日を設定し、個人でも利用できる対策を講じることが健康保険給付金削減にも繋がり、当村において急務と考えるのか。



遠藤 和夫



▲【写真】ラビスパ裏磐梯でのスイスイ健康教室

答（住民課長）

要介護状態にならぬよう、空き時間にできる運動等の指導を地域に出向いて行ったり、ラビスパ裏磐梯のプールを利用したスイスイ健康教室や、保健センターでの貯筋教室など、筋力の維持・向上を目指した事業を行っており、高齢者の方の健康増進を進めています。今後も関係団体と協力し、健康増進や介護予防事業に取り組んでいきます。

体育施設の無料開放については、現在、村の体育協会や文化団体連絡協議会への加盟団体、老人クラブ等の補助金交付団体は使用料を免除しており、無料開放日を設定することは現在考えていません。

問

国でも健康寿命の重要性を指摘している通り、確かに当村でもそうした施策が行われているものの、回数的には決して多くはない。

体力回復やリハビリといったことを目的としている高齢者の方々へ、冬期間の体育施設の無料開放といった福祉施策も必要と思うが村の考えは何か。

答（住民課長）

体育施設の利用は、個人での利用は有料になりますが、身近な老人クラブ等の団体へ加入していただければ無料となり、かつ村内の方であれば、半年先まで受付などの便宜を図っていますので、まずはそうした団体等を利用していただければと思います。

問

そういった行政的な考え方はなく、せつかく月に1回高齢者の方々の健康増進活動を行っているのだから、もう少し柔軟な考え方が、更なる健康増進に繋がると思う。

こういったことを考えていかなければ、村長の「安心安全、夢の持てる施策」には繋がらないと思うが、いかがか。

答（村長）

只今の件は、安全面も考慮し、管理運営上、すぐにやることはできないかもしれませんが、今空いている施設をいかに冬期間開放していきたいのかを今後検討していきたいと思っています。

答（教育長）

教育委員会としても、生涯学習、生涯スポーツの振興といった面で共通の課題であると認識しています。

健康な村民、またスポーツに親しめる環境づくりということについては、関係課と連動しながら検討していきます。

問

体育施設の無料開放に関して、村民の方々を一か所に集約することで、より村民同士の一体感や交流が生まれます。そのためにも、村は住民目線に立つて柔軟な考え方で早期に検討する必要があるのではないかと。

答（村長）

各課連携のもと、ご指摘を受けた点について、今後も横断的な事業執行に努めていきたいと思っています。

問

北山地区既存体育施設（体育館、グラウンド、テニスコート、ゲートボール場）の見直しと共に、ジョギングコース、コミュニティ総合施設（仮称）新設等、村民により利用、親しめる施設としての再整備が必要と考えるがいかがか。

答（公民館長）

ジョギングコースやコミュニティ機能を高める施設の設置については、村民の声や利用団体の意見を聞きながら、本村生涯スポーツ振興の観点から研究していきたいと思っています。

問

現在、北山地区にはコミュニティ施設がない。テニスコートに図書館だとか、ジム、喫茶コーナーといった施設をつくって、世代を超えて、人が集まれる施設をつくるべきと考えるがいかがか。

答（公民館長）

コミュニティ施設について、まずは生涯学習センターを軸に設置をし、その結果を踏まえて順次検討していきたいと思っています。

若林 幸子



村の特産品について

～今後の方針を追及～

問

(1) 特産品のアイデア、工夫をどのようにしているのか、現状について伺う。
(2) これから、どのような商品開発を考えているのか伺う。

答 (農林課長)

東京農業大学との繋がりが出来たことから、農産物加工技術から販売分野まで精通している、東京農業大学の食品加工技術センターと連携し、商品の試作や研究を行っています。

平成28年度には、村民の方々に試食していただく機会などを設け、商品化していきたいと思っています。

東京農業大学との連携協定内容の一つに地域資源を活用した6次産業化、農産物の商品開発と販路拡大のための

連携をしていくこととなっています。

問

杉並区での村産品の販売はどれくらいの経済効果が出ているか。

答 (商工観光課長)

今現在は、5月と9月の年2回実施していますが、その年の気象条件にも左右されますが、平均、2日間で50万から60万円の売り上げになっていると報告を受けています。

問

福島県は、日本でも有数の米どころであり、当村でもたくさんの方々が米を生産している。そうした、お米を交流のある東村(沖縄県)へ安く販売するといった販路の拡大は可能なのか。

答 (農林課長)

昨年、商工会が間にたつて、東村(沖縄県)と物産交流を始め、その中で、東村の方に当村のお米が好評でした。

しかし、コスト的に合わないのが現状です。

現在は両商工会同士で進めておりますので、村では、そうしたバックアップを進めたいと思っています。



▲【写真】東村との物産交流風景

「子供議会」について

～村の考えを問う～

問

子供達に、子供議会を開催することは、村に関心を持ったため大事と思っているが、どのような考えを持っているのか伺う。

答 (教育課長)

議会に触れることは、小中学生が本村の施策や郷土に深く感心を持たせる取り組みとして意義深いものであり、今後とも学校側と検討していきたい

たいと思います。

地域おこし協力隊について

～今後の目標を確認～

問

活動の成果は、急にまだあらわれないと思うが、これから村として、どのような事を、地域おこし協力隊に求めているのかを伺う。

答 (総務企画課長)

地方創生の関連、情報の発信、さらには空き家の管理、活用、移住定住に関する相談、農業振興など、村づくりの推進のために協力隊の方々の持つ経験や技術をお借りしたいと考えています。

問

総務省の地域おこし協力隊に対する村への財政支援は、1人当たり年間400万円交付ということ、その内訳を伺う。

答 (総務企画課長)

総務省から特別交付税という形で村へ入ってきますが、報酬・賃金部分について限度額200万円、そして、年間の活動費について200万円が限度額となっており、このように400万円を限度額として支援される仕組みになっています。

す。

問

現在、当村には2名の方が地域おこし協力隊として活動されているが、今後、村として、さらに地域おこし協力隊を増やす予定はあるか。

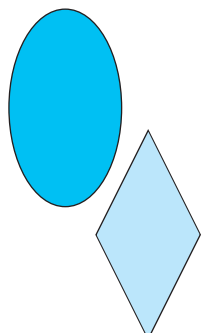
答 (総務企画課長)

当村において、移住定住の相談の窓口や農業振興は、早急に対応すべき課題であり、地域おこし協力隊の協力をいただきたいと準備を進めており、今いる隊員に加えて、新たな分野でも、さらに増やしたい計画です。

用語解説

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化が進む地方において、地域外より人材を積極的に受け入れ、住民の生活支援など、地域協力活動を行い、地域力の維持・強化を図っていくことを目的としています。



北塩原村まち・ひと・しごと創生について

問

農業のこれから農産物、加工品の販売する販路の仕組み作りが必要と思うが伺う。

答（農林課長）

地元の大手スーパーとの取引、契約栽培などが主でありましたが、新たな対策が必要であると考えています。

村内観光施設における消費が十分ではない状況にありますので、個人事業者や一般村民、観光客にも手軽に買い求められるような体制を整備したいと考えています。

また、今回東京農業大学と協定を締結することで、世田谷キャンパスや厚木キャンパス内においても、特産品の販売や観光PRなどが可能となる



五十嵐 力雄

ります。

東京農業大学などにおいても、アンテナショップ的な役割も検討し、その他にも交流自治体や県などと意見交換を行いながら、販路拡大に向けた仕組みづくりを進めていきたいと思っています。

問

地元企業、起業家に対して元気の出る支援策や仕組み作りが必要と思うが伺う。

答（総務企画課長）

村では工場立地促進条例により、地元企業が移設、増設する場合や、新たに企業を設立する場合について、用地取得費の一部助成や環境整備について支援することにより、活動の促進を図っているところです。

人材育成について

問

奨学金返還の見直しについて伺う。

答（教育課長）

当村の奨学金制度は、平成7年度に制度化し、平成8年

度から本年度までに、高校、専門学校、短期大学、大学に進学された72名の方が利用されてきました。

奨学金返還の見直しについては、経済的負担を軽減するために、平成26年度から一部奨学金の増額や返済期間の延長を図るなど、利用しやすい制度として見直しをしてきました。

問

人材育成において、Uターン等で村に戻ってきて、村に貢献している場合は奨学金を免除するといった大幅な緩和や、関係機関との交流をすることで、村への新たな人の流れに繋がり、地域の活性化や交流の促進に繋がると思うが、そういった仕組みづくりを村は考えているのか。

答（教育課長）

人材育成における、奨学金の大幅な緩和といった仕組みづくりについては、現段階では奨学金の免除を行う場合には様々な課題があり、すぐには困難ですが、まずは、他の市町村でこういった制度を構築しているのかなどを踏まえ、調査研究して検討していきたい

いと思っています。

問

大学生等の受入体制の整備について伺う。

答（総務企画課長）

大学生等の受入体制について、村では、「北塩原村まち・ひと・しごと総合戦略」の基本目標の一つとし、村への新しい人の流れをつくることを掲げています。

それは、UターンやJターン、Iターンにも繋がる重要なことなので、きちんとした整備を検討しています。

また、これまでの大学生の受入状況としては、東京農業大学の学生やタイ国のタマサート大学からの農業実習生の受入、立教大学、文教大学の学生のフィールドワークの協力などがありました。

用語解説

Uターン

Uターンとは、生まれ育った場所から進学や就職を期に都会へ移住し、その後、再び生まれ育った場所へ移住すること。

Jターン

Jターンとは、生まれ育った場所から進学や就職

を期に都会へ移住し、その後、生まれ育った場所に近い地方都市に移住すること。

Iターン

Iターンとは生まれ育った場所から、進学や就職を期にその場所とは、別の地域に移住すること。



▲【写真】東京農業大学の学生受入風景

議会運営委員会が所管事務調査を実施

2月4日から5日にかけて、議会運営委員会による所管事務調査を宮城県松島町で実施しました。

同町は、宮城県で初となる議会基本条例を制定するなど議会活動に熱心に力を入れており、また、東日本大震災時の被災地でもある同町は、今なお残る震災の爪痕から、新たな復興を目指し、様々な政策を行っています。

当委員会は、議会基本条例の制定に伴う委員会や議員の責任についてなど、詳細な説明を伺い、多くの意見を交換しました。

また、東日本大震災からの復興においては、これまでの被害や経過を教訓とした『復興・創造・そして貢献』東北・松島の美しさと安全を継承し発信する復興のまちづくり』をコンセプトに、震災復興計画や津波シミュレーションを基にした、『安全・安心な観光まちづくり』、『防災と景観を両立するまちづくり』といったまちづくり計画を策定しており、当村においても防災と景観づくりの両立



【写真】熱心に意見を交換する委員

といった観点では、学ぶべきことが多くあり、実りある研修となりました。

議会基本条例とは…

議会基本条例とは、地方議会に関する基本的運営事項について定めた条例をいいます。

首長等が条例案を説明し、議員が質問するだけという地方議会の在り方を見直すともに、討論の活発化や、住民に開かれた議会活動、執行部との政策論議などの手段が盛り込まれています。

村と東京農業大学が包括連携協定を締結

「村の発展に願いを込めて」

東京農業大学との包括連携協定締結式が、3月22日（火）に同大学世田谷キャンパスにて行われました。

村では、今後、左記の事項において同大学との連携・協力がなされます。

○地域産業資源を活用した6次産業化と人材育成に関する事項

○環境保全・地域づくりに関する事項

○教育・文化振興に関する事項

○農林水産業振興に関する事項 など

〈今月の表紙〉

4月8日（金）にさくら幼稚園、裏磐梯幼稚園にて入園式が行われました。

さくら幼稚園では9名、裏磐梯幼稚園では3名の園児等が新たに、この春から入園することになりました。

園児等は緊張しながらも、元気に返事をし、子どもたちの成長に保護者は終始感動している様子でした。

お知らせ

次回定例会は **6月上旬頃** 開会予定です。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL: (23) 3263
FAX: (25) 7358



▲【写真】締結式の関係者一同

編集委員

委員長 若林幸子
副委員長 遠藤和夫
委員 五十嵐力雄
委員 五十嵐正典
委員 大竹良幸

『編集後記』

村民の皆さま、心が和む桜の季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

議会は、皆様の声を村政に反映させる大切な機関であり、どのように話し合われたか結果を伝えるのが「議会だより」です。議会も新体制となり、早一年となりますが、今後も委員一同、皆様により親しまれる「議会だより」を目指していきますので、村民の皆様の「議会だより」に対する率直なご意見をお寄せください。

委員一同